

仙北市助役に東海林氏



仙北市議会 6月定例会最終日の6月26日に助役選任案が追加提案され、昨年9月20日に仙北市が誕生して以来、不在となっていた助役に秋田県知事公室課長待遇の東海林文和氏(52歳・秋田市)が選任されました。

東海林氏は、昭和51年に秋田県庁へ入り、労政課長補佐、観光課長補佐、土木部監理課副主幹、秘書課主幹、市町村課主幹などを歴任。今年4月から知事公室で、企画・行政改革を担当していました。

行政相談委員に感謝状



行政相談委員として尽力されている小西範子さん(西木町上桧木内)が、このほど秋田行政評価事務所所長より感謝状を贈呈されました。

行政相談委員とは、総務大臣から委嘱を受け、役所の仕事について困っていることや意見・要望を受け付け、解決を図るとともに、制度や行政運営の改善を図る、いわば「行政と住民のパイプ役」です。

行政相談委員の小西範子さん

駒ヶ岳遭難事故の捜索協力で4団体に感謝状



里見消防長から感謝状と記念品が贈呈される

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部(消防長・里見喜代治)では、3月に発生した秋田駒ヶ岳の遭難事故の際、捜索活動や資機材を提供し捜索に協力してくれた団体に感謝状を贈呈しました。

感謝状を贈られたのは田沢湖地方猟友会、ドリームビジョン田沢湖開発、アロマ田沢湖、田沢湖高原リフトの4団体。猟友会は総勢73人が捜索活動に参加。他の団体は圧雪車やかんじきなどを無償で提供されました。

5月24日に角館消防署で行われた贈呈式では、里見消防長が「遭難者の捜索では、多くの人力と資材が必要であり、みなさんの協力に感謝します。この地域は毎年のように遭難事故が発生しており、今後もよろしくお願ひしたい」とあいさつし、感謝状と記念品を贈呈しました。

新入社員歓迎激励会

6月7日、仙北市商工会(会長・柏谷圭一郎)が主催する新入社員(地元就職者)歓迎激励会が角館町の大安閣で開催され、今春、仙北市内に就職した28人の新入社員が参加しました。

北都総研㈱インストラクターの大原悦子氏による接客マナー研修では、職場での言葉づかいや電話の対応、お辞儀、名刺交換、お茶の出し方など実習を交えた研修が行われ、参加者は照れながらも社会人としてのマナーを身につけようと真剣に取り組んでいました。昼食をはさんで午後からは、秋田マナウス(有)代表取締役の斎藤秀明氏による記念講演が行われました。



電話対応の実習をする参加者